

し 知っておきたい いろいろな学校 がっ こう



あ しん がく さき
じ ぶん
自分に合った進学先が
み
見つかる!



しゅう がく じょう ほう
修学情報
ハンドブック



いま
今からでも大丈夫!

あ
新しい自分に
出会う!



もくじ



| | |
|-------------------------|---|
| 高校に進学・復学する?働く? | 1 |
| 学ぶことで未来が広がる! | 2 |
| 高校を卒業していると、どんなメリットがあるの? | 3 |
| 高校に行くとたくさんのメリットがある! | 5 |

スペシャルインタビュー

| | |
|----------------------------------|---|
| 「差し伸べられた手をつかめば、 生きる方向は変えられる。」 | 6 |
| 才門辰史さん(NPO法人セカンドチャンス理事長) | |

| | |
|-------------------------|----|
| こんなにある高校の種類! どんな学校があるの? | 11 |
|-------------------------|----|

| | |
|---------------|----|
| 自分に合った学校を探そう! | 12 |
|---------------|----|

| | |
|------------|----|
| 学年制と単位制の違い | 14 |
|------------|----|

| | |
|-------|----|
| 全日制高校 | 15 |
|-------|----|

| | |
|-------|----|
| 定時制高校 | 16 |
|-------|----|

| | |
|-------|----|
| 通信制高校 | 17 |
|-------|----|

| | |
|-------|----|
| サポート校 | 18 |
|-------|----|

| | |
|------|----|
| 専修学校 | 20 |
|------|----|

| | |
|--------------------------|----|
| それぞれの学校の特長を比べてみよう! [高校編] | 22 |
|--------------------------|----|

| | |
|-----------|----|
| 実際の学校生活は? | 24 |
|-----------|----|



インタビュー①

| | |
|------------------------------|----|
| 「夢が見つかった! 大学合格を目指して勉強中です」 | 26 |
|------------------------------|----|

インタビュー②

| | |
|--------------------------------|----|
| 「演劇が学べる学校で、 充実した日々を送っています!」 | 27 |
|--------------------------------|----|

インタビュー③

| | |
|---|----|
| やってみれば道は拓ける! 「なりたい自分」のために、今、頑張っています。 | 28 |
|---|----|

インタビュー④

| | |
|-----------------------------|----|
| 変われるかどうかは自分次第 大切なのは諦めない心 | 29 |
|-----------------------------|----|

| | |
|-------|----|
| 四年制大学 | 30 |
|-------|----|

| | |
|-----------|----|
| 短期大学、専門学校 | 31 |
|-----------|----|

| | |
|---------------------------------|----|
| それぞれの学校の特長を比べてみよう! [高校卒業後の進学先編] | 32 |
|---------------------------------|----|

| | |
|---------|----|
| 奨学金について | 34 |
|---------|----|

| | |
|-------------------------|----|
| 夜間中学とは? 高等学校卒業程度認定試験とは? | 35 |
|-------------------------|----|

| | |
|---------|----|
| あれこれQ&A | 36 |
|---------|----|

| | |
|-------|----|
| お悩み相談 | 37 |
|-------|----|

| | |
|--------------|----|
| 困ったときの相談窓口一覧 | 39 |
|--------------|----|

高校に進学・復学する？ それとも働く？

なに
何がしたい？

しょうらい ゆめ
将来の夢は？



スペシャルインタビューあり!

がっ こう い
学校に行くと
じん せい もく ひょう み
人生の目標が見つかるかも!

がっ こう い
学校に行って
じ ぶん か のう せい ひろ
自分の可能性を広げよう!

学ぶことで 未来が広がる!



就職する? 学校へ行く?

毎日の生活で、いろいろなことを学んだり、経験したりするうちに、あなたも少しずつ将来について考えるようになるかもしれません。小さい頃の夢を思い出す人もいれば、ひょっとしたら新しい夢を見つける人もいるでしょう。就職活動を始めてみようかな、何か資格の勉強でも始めてみようかな、など、これからの生活に思いをめぐらしている人もいます。なかには、もう一度学校に通ってみようかなと、進学や復学を希望している人もいます。

学ぶとは? 学校とは?

“学び”にはたくさんの意味があります。今は夢ややりたいことが見つからない人もいますが、学ぶことで、これまで知らなかった世界を見ることができ、視野が広がり、夢ややりたいことが見つかるかもしれません。そして、学ぶということは、スポーツでいうならば準備体操のようなもの。そのため、学校とは将来の夢に向かってすぐに動き出せるよう、基礎的な知識を身につけ準備を整えておく場といえるのです。学校ではこのほかに、友だちができたり、クラブ活動や修学旅行などの学校行事に参加して新しい楽しみが見つかるなど、自分が「楽しい!」と思えることが、きっとたくさん見つかります。

学びかたは人それぞれ!

学校にはたくさんの種類があることを知っていますか? 毎日、朝から夕方まで学校へ通う全日制だけでなく、主に夜間に通う定時制、自宅で勉強できる通信制や勉強の面倒を見てくれるサポート校などさまざまな種類があります。ほかの人と一緒に学びたい人は通学制の学校を、自分ひとりで勉強するほうが好きという人は通学しなくてもよい学校を選ぶことができます。また、学校の種類によっては、学校に通いながら働くことも可能です。

新しい学校、新しい環境の中で学ぶことによって、自分自身の新たな可能性に気づく人は大勢います。学校ごとにカリキュラムや1日のスケジュール、年間行事などは異なるので、自分に合ったタイプを探してみましょう。

高校を卒業していると、 どんなメリットがあるの？

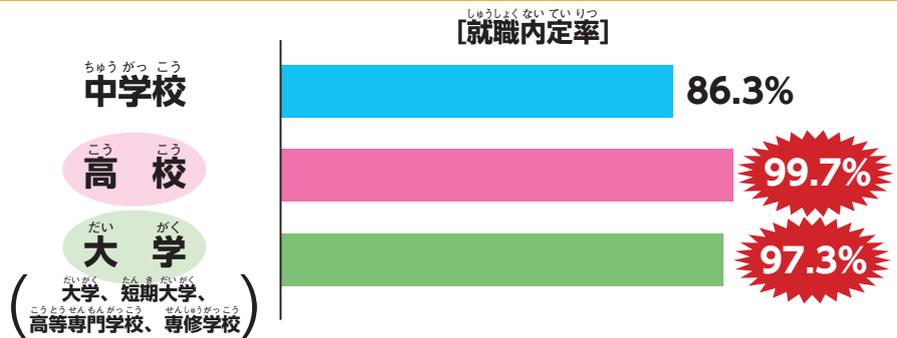
現在の日本における高校進学率は、約99%と高い割合です。

企業では、中学卒業よりも高校卒業、高校卒業よりも専門学校卒業や大学卒業など、学歴によって、給料や仕事の見つけやすさに差が出てきます。将来のことを考えると、中学卒業のままよりも高校を卒業しておいたほうが有利といえるでしょう。

高卒だと…

仕事が見つけやすい!

仕事を探している人のうち、就職先が決まった人の割合は、中卒に比べて高卒の方が約10%強も高くなっています。

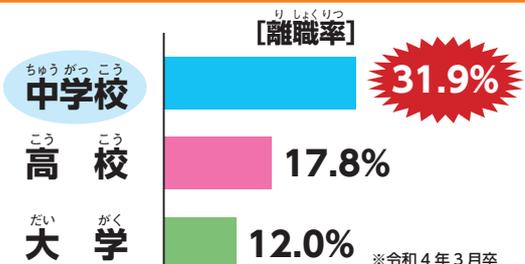


(参考資料：厚生労働省『令和5年度「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況』
／厚生労働省・文部科学省『令和4年度大学等卒業者の就職状況調査』（令和5年4月1日現在）

高卒だと…

仕事をやめる人が少ない!

就職してから1年目までに仕事をやめる人の割合は、中卒では約30%にもなりますが、高卒では20%以下にとどまっています。



(参考資料：厚生労働省『新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移』 ※令和4年3月卒)

高卒だと…

給料も増える!

給料は最終学歴によって額が異なり、その差は歳をとるごとに開いていきます。中卒と高卒の年収を比べると、20歳代ですでに15万円以上の開きがあります。

[年代別の平均年収]

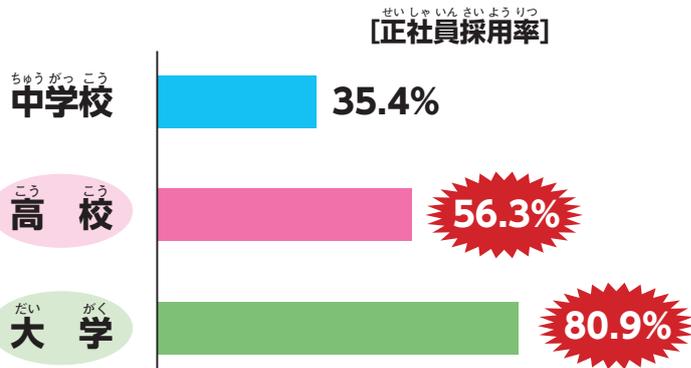
| 年齢 | 中学卒 | 高校卒 | 大学卒 |
|--------|-------|-------|-------|
| ～19歳 | 218万円 | 256万円 | |
| 20～24歳 | 296万円 | 328万円 | 340万円 |
| 25～29歳 | 348万円 | 366万円 | 436万円 |
| 30～34歳 | 381万円 | 406万円 | 505万円 |
| 35～39歳 | 420万円 | 434万円 | 586万円 |
| 40～44歳 | 468万円 | 466万円 | 640万円 |

(参考資料：厚生労働省『令和4年賃金構造基本統計調査（賃金センサス）』)

高卒だと…

正社員に採用されやすい!

最終学歴が高くなるにつれ、正社員として採用される割合も増えていきます。中卒では30%台ですが、高卒では55%を超える人が正社員です。



(参考資料:厚生労働省「平成30年若年者雇用実態調査」)

※正社員は、契約社員のように雇用期間に定めがありません。それぞれメリットやデメリットがありますが、一般に、給与や賞与、福利厚生面で充実していると言えるでしょう。なお、契約社員から正社員に転換できる制度のある企業もあります。

高校を卒業した場合としない場合の違い

中学しか卒業していないと…

- 就職先が見つかりにくい
- 職種や仕事の内容が限られる
- 正社員になるのが難しい
- 給料が低い
- 長く勤めてもキャリアアップがしにくい

高校を卒業すると…

- 就職先が見つかりやすい
- 多くの職種から選べる
- 正社員で採用されやすい
- 中卒よりも給料が高い
- 努力すれば大卒の人と同じ程度まで業務の幅が広がるなどのキャリアアップが可能

やむを得ず仕事をやめてしまうことがあっても、中卒よりも高卒の方が新しい就職先が見つかりやすそうだね!



高校に行くと たくさんのメリットがある!

多くの高校では、文化祭や修学旅行などさまざまなイベントを開催しています。クラブ活動もあり、さまざまな年齢の友だちを作ることができます。勉強や行事、友だちとの交流を通じて、自分のやりたいことや目標がきっと見つかるでしょう。

学力がアップ!

学力がアップし、さまざまな知識が身につきます。



夢が広がる!

視野が広がり、やりたいことや将来の夢を持てるようになります。



友だちができる!

さまざまな年齢の友だちとめぐり合うことができます。



クラブ活動がある!

体を鍛えたり、趣味の幅を広げたりすることができます。



イベントがたくさん!

文化祭や修学旅行など楽しいイベントがたくさんあります。



就職に有利!

就職先が見つかりやすく、正社員で採用される可能性も高くなります。



大学や専門学校に進学できる!

将来の夢に向かって、さらに上の学校を目指すことができます。

大学 OK!

専門学校 OK!

進学し、新たな出会いが人生を変えるきっかけに!

次のインタビューページに登場!
NPO 法人セカンドチャンス理事長
才門辰史さん





NPO 法人セカンドチャンス理事長
才門辰史さん

差し伸べられた 手をつかめば、 生きる方向は変えられる。

長野県の不動産関連企業で働く、才門辰史さん。宅地建物取引主任者として働く現在の姿からは想像ができませんが、小学校時代から勉強が得意な兄たちに劣等感を持ち、中学時代には不良グループへ。そして18歳のときに、少年院へ送致されました。しかしその後、ひとつひとつの「出会い」が才門さんの人生を大きく変え、高校卒業の資格を取得したのち、夜間大学へと進学。現在は、不動産関連の企業で働く傍ら、少年院出業者等の自助グループである「NPO 法人セカンドチャンス！」の代表として活動しています。同じような境遇の仲間たちと切磋琢磨しながら、人との出会いを大切にする才門さんにお話をお聞きしました。

父親の言葉が高校進学を目指す きっかけに

大阪府岸和田市で男ばかりの3人兄弟の末っ子として生まれました。小学生の頃から兄2人に比べて勉強ができずに、劣等感を感じな



がら生きていたように思います。だからという訳ではないのですが、中学生の頃に不良グループに入り、非行を繰り返しました。そして、18歳の時に少年院送致。勉強に関しては駄目だと思っていたので、この先の人生も進学とは無縁だと決めつけていたのですが…高校進学を目指すきっかけをくれたのは父親でした。もらった手紙の中に、「お風呂にも入れた記憶はないけれど、一から親子関係をやり直さないか」ということが記されていて、父親自身も責任に感じていると言ってくれたのです。「自分は見捨てられていない」と感じましたね。勉強への劣等感は持ちつつも、親への罪滅ぼしがしたい、喜ばせたい、期待してほしいという願望から、「とりあえず高校に行きたい」と考えるようになりまし

少年院の中では、最初は無理矢理なのでは

れど…自分のことを振り返りながら作文をたくさん書かされて(笑)。どうして事件を起こすようになったのか、非行の原因は何なのか…いろんなことを突き詰めて、これからどうやって生きていきたいかを考えるきっかけをもらいました。それまでは一切考えたことがなかったので、初めて真剣に考えました。その時に、もう捕まるような人生を歩みたくないなと強く感じたんです。

2人の師との出会い

しかし、変わりたいと思ったのも束の間、少年院出院後すぐ、昔の仲間たちのところに自分から行ってしまいました。1年間を取り戻したかったのと、とにかく寂しくて孤独で、自分が出てきたことを伝えたくて我慢できませんでした。

その後色々あって、仕事をする、高卒の資格を取得するという親との2つの約束のもと、上京しました。地元を離れさえすれば人生やり直せると思ったのですが、そんな甘くなくて。服装も元に戻り、繁華街をフラフラし、仕事もうまくいきませんでした。それでも高卒の資格だけは取ろうと思い、フリースクールで通信制の高校に所属しました。しかし、そこは不登校やひきこもりだった学生が多く、自分には合わないなと思いました。誰も知り合いのいない孤独感もあって、すぐに学校にも行かなくなり、また昔の自分に戻りかけました。

そんな時に会ったのが、このフリースクールを運営していた教会の牧師先生です。牧師先生は、こんな自分に「フリースクールの仕事を手伝ってくれないか」と突然頼んできました。



こんな風に自分を必要とされたことも、そんな人に出会ったのも人生で初めての経験。とにかくうれしくて、どんなことがあっても牧師先生の言葉だけは絶対に聞こうと決めましたね。先生のおかげで、最終的に通信制で高卒の資格と取ることができました。

そして牧師先生から、「働きながら大学に行ってみないか」と助言をもらい、高卒の資格を生かして、社会人推薦で夜間大学の社会福祉学科に入学。その先に何があるかなんて分からないけれど、とりあえず大学への進学を決めたという感じですね。職場の推薦だったので社会福祉学科だったのですが、福祉が何かも知らなかったですし、あまり興味もなかった。履修科目も漢字ばかりで「？」の状態…数十個もある履修科目の中で唯一「犯罪」という名の付いた「犯罪社会学」という科目だけには興味が湧いて。そこで出会ったのが、元法務教官の先生でした。この先生には、自分が少年院出院者だということを伝え、本音で色々話すことができました。授業で少年院にも見学に行ったりして。教会の牧師先生や元法務教官の先生との出会いがあったから、人生が少しずつ変わっていった気がします。



少年院で過ごした時間があってから

勉強に対して劣等感のあった自分が、初めて目的を持って勉強をしたのは少年院にいた時です。自分がいた頃は、今のように高卒認定試験の勉強をするような機会はなかったのですが、危険物やガス溶接、漢字検定などの資格取得のために勉強しました。受かったときは「自分にもできる！」という自信につながりましたし、少年院で得た勉強のノウハウのおかげで、現在の不動産管理の仕事に関連する宅地建物取引士の資格の取得にもつながりました。

ちょっと複雑な職歴ですが、声かけをしてもらってから6年間、フリースクールで働いている中で、大学の先生から別のひきこもりのサポートをしているNPOを紹介され、1年間「居場所の主任」を経験。でも、すでに結婚をしていて、妻子もいたので、家族を養えていないと悩んでいたときに、今度は教会の牧師先生から後継者のいない建設会社を紹介され、「給料が上がるかも」と(笑)、栃木県で別荘管理部のの仕事に就きました。その仕事をしている時

に、長野県の別荘管理がうまくいってない他の会社を紹介され…少年院を出てからずっと人が人を紹介してくれて、今の仕事や居場所があるのは間違いありません。

これまでは、自分は社会で生きていけないと思っていたのですが、仕事が続くことによって「俺、社会で通用している」「てゆーか自分も社会人やん」って、うれしかったことを覚えています。これまでは、親方に反抗的な態度を取って、「辞めてやる！」みたいに、辞めるきっかけを探して、ぶつかって辞めるということを繰り返していたのですが、自分のことを信じてくれている人がいることで自覚や誇りが持てるようになり、それまでは続かなかった仕事も続くようになっていったように思います。

NPO法人セカンドチャンス！

大学時代に出会った元法務教官の先生が全国に呼びかけ、少年院出院者の社会人が集まり立ち上げたのが「セカンドチャンス！」。初期メンバーは、元法務教官の先生に「君の経験が必要だよ」といわれ、その言葉を根底に持ちながら活動しています。基本的にそれぞれが仕事を持っていて、住んでいるところもバラバラ。月1回、交流会という形で集まって情報交換をしたり、誰かに問題があればみんなで知恵を出し合ったり、考えたりしながら、最後はハグしあって、「また来月会おう！」と言って帰路につく…サークルみたいな感じで活動しています。少年院だけじゃなくて刑務所出所者も多く、メンバー制は取っていません。普段はSNSで100人ぐらいつながっているの、そこで連

絡を取り合うという感じでした。来るのも、辞めるのも自由。自分自身、運営スタッフ側ではあるけれども、ここが癒しの場。不思議ですけど、当時は大人の人に声をかけられても「お前に俺の気持ちの何がわかる」という感じで、自分から壁を作っていました。しょせん、逮捕されたこともない人には分かるわけがないと思っていて。でも、「セカンドチャンス！」にいる年上の人の話はすごい身に入ってくる。本当の意味での仲間なのですよね。利害関係もないし、蹴落としたりもしない。そういうしがらみのない仲間作りができてるのが「セカンドチャンス！」だと思えます。また、立ち上げから支えてくださっているサポーターのみなさんには心から感謝しています。

自分を信じ、出会いを大切にすること

自分は、「仕事を手伝ってくれ」と道筋を作ってくれた教会の牧師先生や、自分たち当事者たちの交流の場を作ってくれた元法務教官の先生のようにはなれないことはわかっています。でも「セカンドチャンス！」を通して、何でも話せる相手にはなれるかなと思っています。「俺も少年院出たよ」と言ったらきっと、ドロドロとした本音の部分の話せる相手の一人にはなれるかなと。実際に今考えると、自分自身も教会の牧師先生には、ドロドロとした本音の部分は話せなかった。でもこんな自分のことを必要としてくれた。また、他に話せる場所・元法務教官の先生がいた。だから、見捨てなかつたり、必要としてくれたり、本音を話せたり…そのような複数のつながりがあれば、



当事者たちが困ったとき、迷ったときに選んでいけると思うのです。

「セカンドチャンス！」の中には、自分とは違い、きつい状況の中でも大人になってから復学・進学をした人たちもいます。だからあきらめてほしくないです。「セカンドチャンス！」の活動をやっていく中で、いろんな少年院出院者と出会いました。大人になって子どもを育て、仕事をしながら、大学に入学した人もいれば、いろんな資格を取っている人たちもいて。もし少年院にいて、自分はどうせ恵まれていないから大学には行けない、と思っている人たちがいたら「いやいや、大人になってから大学に行っている人はたくさんいるよ」と伝えたい。何歳



からでも、やり直している人はたくさんいることを伝えたいと思います。「セカンドチャンス！」の中でも前を向いている人たちに共通しているのが、人や環境のせいにはあんまりしていないこと。みんなそれぞれの環境ですけれど、これからの自分自身でどうにでもできる。そう信じること。そして出会いを大切にすること。これが大切なことなのかなって思いますね。



必ずあなたの味方になってくれる 人がいる

少年院、フリースクール、大学進学、就職、NPO 活動…いろんな経験をしてきて思うことは、良い・悪いは別として、復学や進学自体がゴールではないということ。復学や進学も含めて、生き直しをさせてもらえたきっかけは、人との出会いでした。少年院の中で自分のことを見捨てないでいてくれる存在と出会えたこと、仕事を手伝ってくれないかと自分のことを必要とってくれる存在と出会えたこと。最後に、居

場所を得るきっかけと何でも本音で話せる存在と出会えたこと。この3つの出会いに生きる方向を変えてもらったなと思っています。なので、今苦しい状況にある人々には、必ず味方になってくれる人がいるということ伝えたいです。自分を必要としてくれる声かけがあったら、かっこ悪いなという思いやプライドもあるだろうけれど、とにかく「やってみます」と、差し伸べられた手をつかんでほしい。そうすれば、結果的に人生が変えられていくって信じています。



<プロフィール>

大阪府岸和田市で、男ばかりの3人兄弟の末っ子として生まれ育つ。中学生の頃、非行グループに入ったのをきっかけとして非行を繰り返し、18歳の時に少年院送致となる。その後、通信制高校へ進学し、フリースクールの仕事を手伝いながら夜間の大学へ通う。大学では元法務教官であった教授との出会いをきっかけに、少年院出院者の自助グループ「セカンドチャンス！」を立ち上げる。現在は長野県で不動産管理の仕事をしなが、NPO 法人となった「セカンドチャンス！」の代表として活動している。

●「NPO 法人セカンドチャンス！」は、少年院出院者が経験と希望を分かち合い、仲間として共に成長することを目的とした自助団体。メンバーで交流会やレクリエーションなどを実施するほか、全国の少年院や更生保護関連団体、学校等で講演を行い、メッセージを発信している。

《セカンドチャンス！の本》

- ・『陽はまた昇る 少年院等出身者への応援メッセージ』
- ・『セカンドチャンス！ ～人生が変わった少年院出院者たち～』
- ・『あの頃、ボクらは少年院にいた セカンドチャンス！ 16人のストーリー』

こんなにある高校の種類!

どんな学校があるの？

通学スタイル、学習の方法は各学校によりさまざま

現在、さまざまなタイプの学校がありますが、中卒の人が進学できる学校は、下に示したとおりです。学校に通う通学型や自宅で勉強する自宅学習型といったように、勉強の場も学校によって異なります。また、1年ごとに進級していく学年制や、卒業までに必要な単位を取得すればよい単位制など、学習の方式もそれぞれです。みんなと一緒に学びたいのか、働きながら勉強したいのか、技術を生身につけたいのかなど、本当に学びたいことや、どんな環境やペースで学ぶのが自分に合っているのかを考えてみましょう。

全日制高校 → P15

3年間、毎日、学校に通い、1年ごとに進級していく学年制がほとんどです。全国でもっとも多いのが全日制です。

定時制高校 → P16

午前、午後、夜間など、特別な時間帯に授業を行う、通学スタイルの高校です。3年～4年の学年制がほとんどです。

通信制高校 → P17

主に自宅で学習し、レポートを学校に提出して添削指導を受け、単位を修得していきます。年に20回ほど学校に通う日(スクーリング)があります。

サポート校 → P18

通信制高校で学ぶ生徒などの学習を支援する学校です。塾のような存在で、通学日数は週1日、3日、5日など自分で選ぶことができます。

高等専修学校 → P20

専修学校のひとつで、社会に出てすぐに役立つ職業教育を行います。学科により1年制から5年制までいろいろあり、大学受験の資格が得られる学校もあります。

技能連携校 → P21

定時制または通信制の高校と同時に入学することで、全日制高校と同じ高校卒業資格が得られます。専門的な学習と普通の高校の学習を一緒にします。

学年制とは…

1年ごとに、必要なすべての単位を修得することで、次の学年に進級できる仕組みです。

単位制とは…

科目ごとに単位数が設定され、卒業までの間に必要な単位数を修得していく制度です。

高校以外にも知っておきたいこと!

夜間中学 → P35

夜間中学も昼間の中学校と同じ、中学校です。戦後の混乱期の中で義務教育を修了できなかった人や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられなかった人、本国や日本で義務教育を修了していない外国籍の人など、多様な背景を持った人たちが学んでいます。

高等学校卒業程度認定試験 → P35

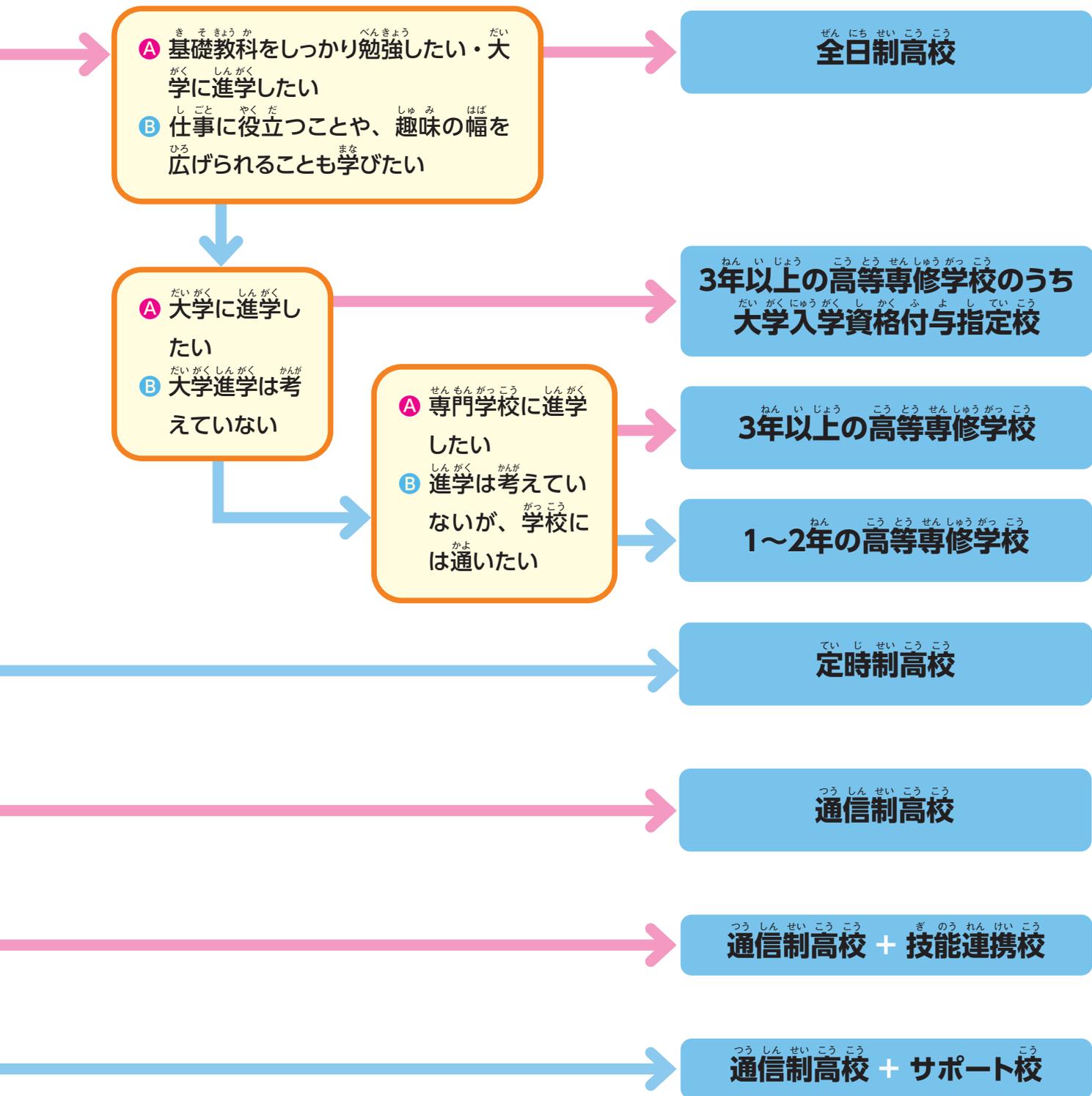
高校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験です。合格すると、大学、短大、専門学校を受験資格が得られます。

● **高校卒業資格とは…**

学校教育法の第1条で定められた全日制、定時制、通信制のいずれかの高等学校を卒業した人に与えられる資格のことです。卒業するためには、①3年以上在籍、②74単位以上を修得、③特別活動30時間以上参加が条件となります。

● **大学入学資格とは…**

高等学校を卒業した人、指定された高等専修学校を卒業した人、高等学校卒業程度認定試験に合格した人などに、大学への入学資格が認められています。



学年制と単位制の違い

高校の学習方式には「学年制」と「単位制」とがあります。全日制や定時制などは「学年制」が多く、通信制は主に「単位制」となっています(卒業に必要な単位は、74単位と決められています)。

学年制のしくみ

1年ごとに、進級に必要な単位数を修得していく制度です。すべての単位を取らないと次の学年に進級することはできず、もう一度勉強し直します。

A君の場合



B君の場合

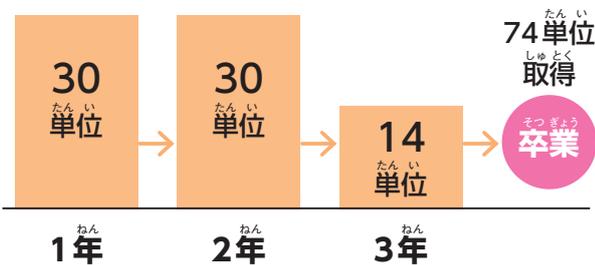


1年ごとに単位数は決められている。単位を1つでも落とすと留年

単位制のしくみ

科目ごとに単位数が決められており、卒業するために必要な単位数を修得することによって卒業できる制度です。各学校で決められた年数内で単位が取れば卒業できます。

A君の場合



卒業年限までにすべての単位を取ればよい

B君の場合



単位とは…

学習した量と成績によって単位が取れるかどうか決まります。欠席が多く、定期テストで一定の基準を超えていない場合は単位は取れません。

ぜん にち せい こう こう 全日制高校

まい にち つう がく
毎日通学。

だい がく しん がく しゅうしよく
大学進学や就職もしやすい!

いっ ばん てき こう こう ぜん にち せい しゅう いつ か むい
一般的な高校は全日制です。週5日～6
日、朝、登校して夕方まで授業を受けます。
つう がく き かん ねん しん きゅう
通学する期間は3年で、1年ごとに進級
していく学年制がほとんどです。ただし、
ひとつの科目でも、必要な単位数を修得し
ていないと留年してしまいます。また、単
位制を導入している学校もあります。単位
制の場合は、決められた年数内で単位が取
れれば卒業できます。

ぜん にち せい こう こう
全日制高校は、ほかの高校に比べて大学
の推薦枠も多いため、大学進学を目指す人
には向いています。また、学校をとおして
きゅうじん しゅうほう
求人情報が得られる点も大きな特長です。

クラスメイトと一緒に勉強することで意

よくがわき、お互いに励まし合ったり、クラ
ブ活動を通じて友だちがしやすいところ
も魅力です。

また、都道府県によっては、小・中学校
で十分能力を発揮できなかった生徒のやる
気を育て、頑張りを励まし、応援しながら、
勉強や学校行事・部活動などを通して学校
生活を充実させる全日制の高校(エンカ
レッジスクール、エンパワメントスクール
等)もあります。



とく ちょう 特長

- しゅう いつ か むい か まい にち つう がく ひ こと
週5日～6日、毎日通学。日によって異なるが、授業時間は6時間程度。
- ねん しん きゅう がく ねん せい
1年ごとに進級する学年制がほとんど。
- かつ どう しゅう がく りよ こう ぶん か さい たい かい
クラブ活動、修学旅行や文化祭、スポーツ大会などがある。

メリット

- つう がく
通学することで、きちんと勉強できる。生活のリズムも整えられる。
- だい がく せんもん がっ こう しん がく
大学や専門学校へ進学しやすい。
- がっ こう
学校をとおして就職先が見つかる。
- とも
友だちができたり、クラスメイトと励まし合える。
- さまざま べん きょう かつ どう つう しゅうらい ゆめ えが
さまざまな勉強や活動を通じて、将来の夢が描ける。

デメリット

- にゅう がく じゅ けん
入学受験があり、さらに授業時間が多いため、勉強への興味・関心が
ないと通学への意欲が高まらない。

定時制高校

主に夜間に授業。
働きながら勉強できる!

1日のうち、特定の時間に授業を行うのが定時制です。これまでは夕方から授業を行うのが一般的でしたが、現在は午前、午後、夜間の3部制となっています。授業時間は通常1日4時間で、卒業までに4年かかります。ただし、土曜日に授業を行ったり、3部の時間帯を組み合わせることで、3年間で卒業できるようにしている学校も増えています。また、多くが1年ごとに進級する学年制となっていますが、自分でスケジュールを組む単位制を取り入れている高校もあり、3年卒業か4年卒業かを

選べる場所もあります。

定時制は、働いたり、ほかのことに時間をとりながら、きちんと勉強したい人には適しています。さまざまな年代、さまざまな立場の人が通ってくるため、視野も広がります。

また、都道府県によっては、小・中学校時代に不登校経験を持つ生徒や高校を中途退学した生徒を主に受け入れる定時制・単位制の高校(チャレンジスクール等)もあります。



特長

- 基本的には、1日のうち4時間勉強。
- 卒業までの年数は3年～4年。
- 全日制高校と同じ高校卒業資格を取得できる。
- さまざまな年代、さまざまな立場の人がいる。

メリット

- 仕事や学校以外の勉強、また趣味やスポーツなどに時間をとることができる。
- 通信制よりもきちんと勉強時間が確保できる。
- わからないところは直接、先生に教えてもらえる。
- 専門学校や大学へも進学できる。
- 視野が広がる。
- 文化祭や修学旅行などの行事・イベントがある。

デメリット

- クラスメイトにはさまざまな年代や立場の人がいるため、よい面も悪い面も影響を受けやすい。

通信制高校

自分のペースで、
自宅で勉強できる!

通信制は、自宅などで学習し、定期的にレポートを学校に提出して添削指導を受け、単位を修得する高校です。年間に20日間ほど、学校に通って直接授業を受けるスクーリングがあります。通信制は自主学习が基本ですが、私立校のなかには、全日制のように週5日、または週1日や3日など、通学コースを設けているところもあります。

通信制は自由な時間が作りやすいため、仕事をしたり、資格の勉強やスポーツなどに励んでいる人も少なくありません。また、技能連携校で勉強をした場合、最大半分まで通信制高校の卒業に必要な単位として認

められます。通信制は、勉強のペースや単位の取り方など、自由に選べる点が大きな特長です。また、4月以外の年度途中で入学できる学校もあります。



特長

- 基本的自主学习で、通学する日が限られている。
- 自主学习が苦手な生徒のために、通学コースを設けている学校もある。
- 全日制高校と同じ高校卒業資格を取得できる。
- 技能連携校で学んだ単位も認められる。
- 高校卒業を目的としているだけでなく、大学進学対策にに応じているところもある。

メリット

- 自分のペースで勉強できる。
- 最短で3年、学校によっては10年以上かけて卒業することもできる。
- 仕事や学校以外の勉強、また趣味やスポーツなどに時間をとることができる。
- 技能連携校やサポート校とのダブルスクールが可能。
- 遠足や文化祭など行事・イベントも行われる。

デメリット

- 自宅などで学習するため、勉強への意欲を自分で高めなければならない。

サポート校

専門コースで
好きなことが学べる!

サポート校とは、名前のとおり学習のサポートを行う教育機関のことを指します。主に通信制高校で学ぶ生徒を支援しており、どちらかといえば塾のような存在です。塾といっても、多くは週5日通学するというスタイルをとっていて、朝9時半から始まるところがほとんどです。授業の内容は、通信制高校に提出するレポートの作成を中心に、不得意科目の補習や専門コースの勉強が基本となっています。将来の目標を見つけやすいように、専門コースには、音楽やスポーツ、美術や福祉などさまざまな分野があり、独自

のカリキュラムが組まれています。また、少人数制で一人ひとりの学習レベルに合わせて指導が行われる点、メンタルや生活面でのサポートが充実している点も、ほかの学校にはない魅力です。



特長

- 授業の基本は通信制高校に提出するレポートの作成。
- 週5日通学がほとんど。始業は9時半と遅め。
- 音楽、スポーツ、美術、アニメ、ファッション、ペット、自動車、福祉など専門コースを設けているところが多い。
- メンタルや生活面でのサポートが充実している。
- 少人数制で一人ひとりに合わせた指導が行われている。

メリット

- 通学することで、きちんと勉強時間が確保できる。
- 専門コースで好きなことが学べる。
- クラスメイトがいるのでお互いに励まし合える。
- 先生と生徒の距離が近く、相談もしやすい。
- 文化祭や修学旅行など行事・イベントも行われる。

デメリット

- 通信制高校と併せて通学するため、学費の負担が大きくなる。

こんな通信制高校・サポート校がある!

インターネットで勉強!

通信制では普通、自分でテキストを読んで勉強しますが、授業もレポート提出もインターネットで行う学校があります。



いろいろな専門コースがある!

通信制・サポート校のなかには、音楽、ペット、ヘアメイク、声優・アニメ、調理、ダンス、ITなど、一般科目とは別に、専門的な知識や技術が身につけられるコースが設置されています。資格や検定試験に挑戦できるところもあります。



海外へ留学できる!

英語をはじめ、中国語やフランス語など、語学を学びながら高卒資格や各種語学検定試験の勉強ができる語学特化型の通信制やサポート校があります。留学プログラムを設けているところもあります。



スクーリングをリゾート地で

通信制の場合、スクーリングといって登校する日が決められていますが、なかには沖縄や北海道、屋久島や離島などで、数日間、合宿という形で授業を行う学校もあります。



専修学校

技術や資格が取得できる!

専修学校には、高卒以上の人が入れる専門学校と、中卒以上の人が入れる高等専修学校があります。専門学校では、実際に社会で役に立つ専門的な知識や技術の習得に重点がおかれています。

高等専修学校では、工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養の8つの分野があり、職業に関する専門的なことが学べます。各学校で独自のカリキュラムが組まれ、調理師などの資格が取得できたり、理容師や2級建築士など

の受験資格が得られます。また、修業年限が3年以上の学校を卒業すると専門学校に、さらに国から指定を受けた学校の場合は、大学への進学も可能です。



特長

- 工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養の8分野から学べる。
- 職業に必要な知識や技術が身につく。
- 実習・実技が多い。
- 卒業と同時に資格が取得できたり、資格取得のための受験資格が得られる。
- 技能連携校になっている場合、定時制もしくは通信制の高校にも同時に通うと2つの卒業資格が得られる。

メリット

- 卒業後、すぐに現場で活躍できる。
- 趣味や将来の仕事に合わせて、学びたいことが選べる。
- 専門学校や大学にも進学できる（修業年数、学校による）。
- 入学しやすい。
- 通学スタイルはさまざま。自分で選べる学校もある。

デメリット

- 特定の分野に興味・関心がないと、勉強の意欲が高まらない。

高等専修学校で学べること

| 分野 | 設置学科 |
|---------|--|
| 工業 | 情報処理、コンピュータグラフィックス、自動車整備、土木・建築、電気・電子、放送技術、無線・通信 など |
| 農業 | 農業、園芸、畜産、造園、バイオテクノロジー、動物管理 など |
| 医療 | 看護、歯科衛生、歯科技工、臨床検査、診療放射線、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、はり・きゅう・あんまマッサージ指圧、柔道整復 など |
| 衛生 | 栄養、調理師、製菓、製パン、理容、美容、エステ など |
| 教育・社会福祉 | 保育、幼児教育、社会福祉、医療福祉、介護福祉、老人福祉、精神保健福祉 など |
| 商業実務 | 経理・簿記、旅行・観光・ホテル、会計、経営、医療秘書、流通ビジネス、OAビジネス、福祉ビジネス など |
| 服飾・家政 | ファッションデザイン、ファッションビジネス、アパレルマーチャンダイジング、和洋裁、編物・手芸、スタイリスト など |
| 文化・教養 | デザイン、インテリアデザイン、音楽、外国語、演劇・映画、写真、通訳・ガイド、公務員、社会体育 など |

技能連携校とは

技能連携校とは、専門的な学習と普通の高校の勉強をしながら、高校卒業資格の取得を目指す学校です。技能連携校に入学すると同時に、定時制または通信制高校に入学する必要があります。技能連携校で学んだ単位は最大半分まで高校の単位として認められるため、学習負担が重くなることはありません。学習場所は主に技能連携校です。

現在、高等専修学校の半数近くが技能連携校を運営しており、ほかには職業訓練校や自動車・製造メーカーなどの企業が、高い技術や技能を継承するために開校しているケースがあります。

高校を卒業していれば 専門学校に!

専門学校は社会で役立つ専門的な知識や技術を学び、就職にも有利です。また、2年制以上の課程を卒業した人は、4年制大学の3年次又は2年次への編入学が認められています。高校を卒業していれば、専門学校で学ぶのもひとつの方法です。

それぞれの学校の特長を比べてみよう! [高校編]

| 学校の種類 | 入学試験 | 学校の種類 | 学費 |
|--------|-------------------------------|--|--|
| 全日制高校 | 学科試験・面接 | <ul style="list-style-type: none"> 国立 私立 | 年間学習費 <ul style="list-style-type: none"> 公立=約51万円 私立=約105万円 |
| 定時制高校 | 学科試験・面接 | <ul style="list-style-type: none"> 国立 私立 | 入学金を含め3年間の場合 <ul style="list-style-type: none"> 公立=約46万円 私立=約170万円 |
| 通信制高校 | 面接・作文 | <ul style="list-style-type: none"> 国立 私立 | 初年度 <ul style="list-style-type: none"> 公立=約1万8,000円 私立=約31万円 (単位あたりの授業料をもとに履修単位数で計算するため、個々で異なる) |
| サポート校 | 学習意欲があれば 誰でも入校可能 | 通信制高校、予備校、塾などが運営 (サポート校自体は高校ではない) | 初年度 30万~80万円程度 (専門コースや通学日数によって異なる) |
| 高等専修学校 | 面接・作文・書類 | <ul style="list-style-type: none"> 私立がほとんど 国立は各都道府県に2、3校 | 初年度 60万~100万円程度 (学ぶ分野や修業年数によって異なる) |
| 技能連携校 | 書類・面接(同時に定時制または通信制にも入学する必要あり) | 各都道府県の教育委員会からの指定を受けた教育施設。高等専修学校、職業訓練校、自動車や製造メーカーなどが運営 | 初年度 90万円程度 |

「就学支援金制度」とは

国公立を問わず、高校などの授業料の支援として、「市町村民税所得割額」が30万4,200円(年収910万円程度)未満の世帯に、「就学支援金」が支給されます。支援金を利用すると授業料が無料になるなど、学費はかなり減額されます。

また、奨学金制度を設けている学校や、公的、民間の奨学団体も多々あります。教育資金の確保には、金融機関の教育ローンを利用するのもひとつの方法です。100%政府出資の日本政策金融公庫が扱う「国の教育ローン」の場合、融資限度額は子ども1人当たり350万円で、金利は年2.25%(2023年10月現在)となっています。

奨学金についての詳しい内容は34ページにまとめています。

| 通学スタイル | 修業年限 | 卒業条件 | 卒業後の主な進路 |
|--------------------------|---------------------------------|------------------|---|
| 週5日程度通学 | 3年 | 1年ごとに必要単位数を修得し進級 | <ul style="list-style-type: none"> 大学や専門学校へ進学 就職 |
| 週5日程度通学 | 3年～4年 | 1年ごとに必要単位数を修得し進級 | <ul style="list-style-type: none"> 大学や専門学校へ進学 就職 |
| 自宅で学習または通学(週1日～5日までさまざま) | 3年以上 | 卒業までに必要単位数を修得 | <ul style="list-style-type: none"> 大学や専門学校へ進学 就職 |
| 週5日程度通学 | 定時制や通信制の高校を卒業するまで。もしくは自分の希望する期間 | | |
| 週1日～5日程度通学(学ぶ分野によって異なる) | 1年～3年以上(学ぶ分野によって異なる) | 卒業試験に合格 | <ul style="list-style-type: none"> 大学や専門学校へ進学(3年以上修業すると専門学校へ進学が可能。大学入学資格付与指定校の場合(大学への進学が可能)) 就職 |
| 週5日程度通学 | 3年～4年 | 卒業試験に合格 | <ul style="list-style-type: none"> 大学や専門学校へ進学 就職 |

※詳細は各学校の入学案内等で確認してください。



<就学支援金の支給限度額>

| | |
|--------------|------------|
| 公立・私立の全日制高校 | 月額 9,900 円 |
| 公立の定時制高校 | 月額 2,700 円 |
| 公立の通信制高校 | 月額 520 円 |
| 私立の定時制・通信制高校 | 月額 9,900 円 |
| 単位制 | 支給額が異なる |

実際の学校生活は？

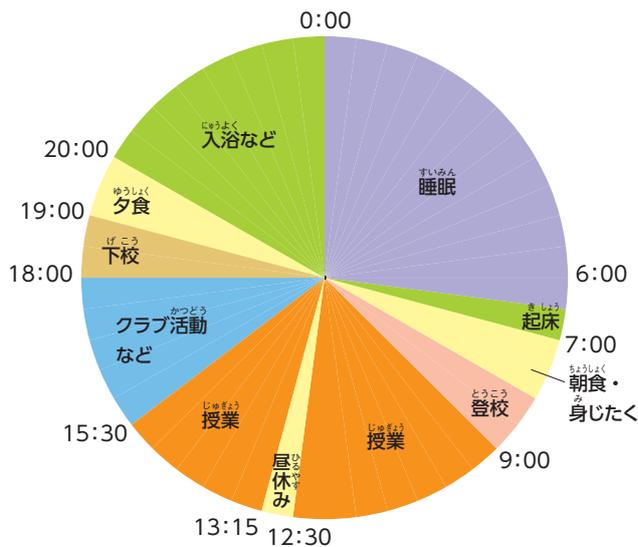
学校の1日は、いったいどんな様子なのでしょう。始まる時間は？ 授業の回数は？
 どんな違いがあるのか、それぞれの1日の学校生活を見てみましょう。

全日制高校



授業のあとは
 スポーツや音楽など
 さまざまなクラブで楽しもう！

1日のスケジュール

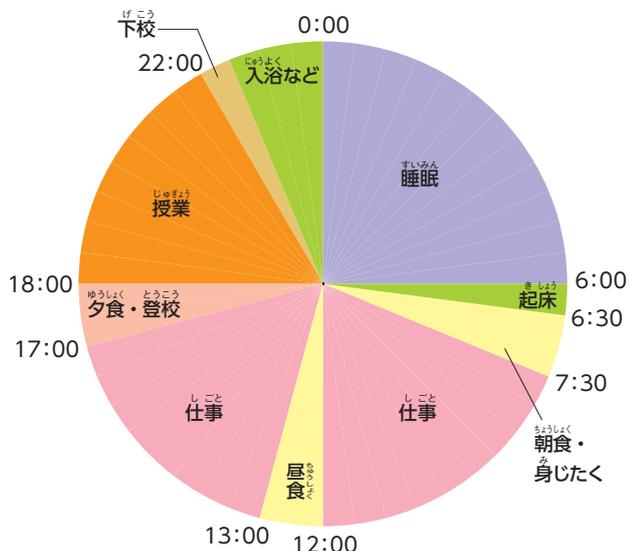


定時制高校(夜間の場合)



学校生活の一番のイベントは
 修学旅行！

1日のスケジュール



働きながら
 勉強できる



通信制高校

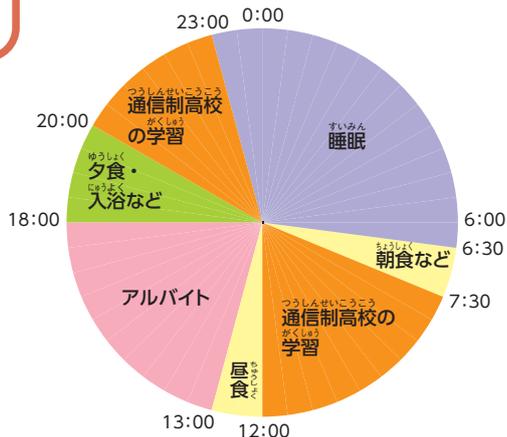


芸術鑑賞会など
校外学習も盛りだくさん!

自分のペースで
勉強できる

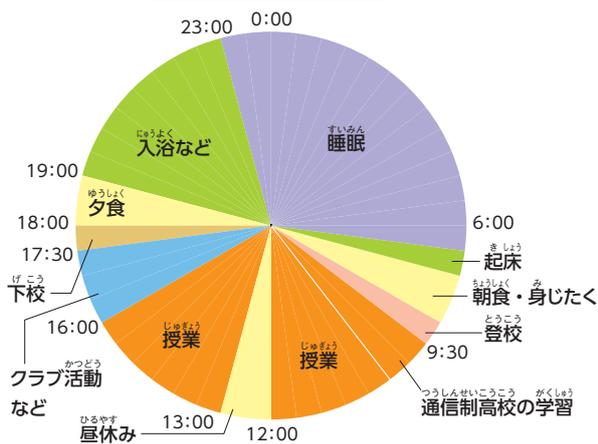


1日のスケジュール



サポート校

1日のスケジュール



授業は少人数制



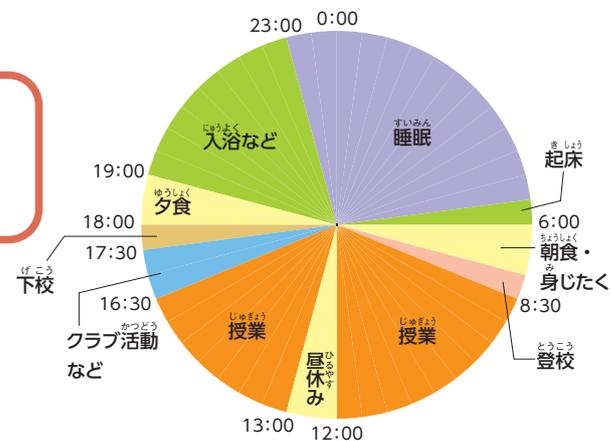
通信制高校の勉強をしながら
通学します

高等専修学校

実習や実技で
技術が身につく



1日のスケジュール



※ここで紹介しているのはあくまでも例です。授業が始まる時間、授業時間、昼休み時間、下校時間などは各学校によって異なります。

夢が見つかった！ 大学合格を目指して勉強中です

M君 [通信制高校・サポート校]

どうしたいのか、 自分でもわからなかった

中学を卒業して高校に進学しましたが、いろいろな問題を起こしたこともあって、中退を余儀なくされました。高校を中退したほとんどの人は、就職するか、学校に入り直すかのどちらかを選ぶと思います。でも、自分ではどちらでもいいと思っていました。というよりも、どうしたらいいのかわからなかった、というのが正直な気持ちです。学校に行くといっても、集団で、同じ机に座り、同じ方向を向いて、同じことを勉強するのは、とても窮屈に感じていました。かといって仕事をしたいわけでもなく……。将来に対して不安だけを抱えていたとき、母からわたされたのが、通信制とサポート校の資料だったのです。

通信制プラスサポート校へ 入学

通信制という名前は知っていましたが、サポート校のほうは名前も、どんなことをするのかもよくわかりませんでした。でも、サポート校が通信制の勉強をサポートするところであり、先生から直接指導が受けられ、少人数制で通学スタイルも自分に合わせられることなどから、行ってみようかなという気持ちになりました。実際に入ってみると、校則はありますが、自由で、一人ひとりのペースに合わせて先生が指導してくれるので、勉強に対する意欲が徐々にわいてきました。クラスメイトも、いい意味で相手のことを気にしない人が多かったので、気兼ねしたり、気を遣う

ことがなく、のびのびと勉強できました。そして、学校主催のシンポジウムで、ある司法書士の方の話に感動したのがきっかけで、司法書士になりたいという夢ができたのです。

再度、受験にチャレンジ！

夢を叶えるためには大学に進学しなければなりません。勉強に興味がわくようにはなっていたものの、まだまだ危機感が足りなかったと思います。受験まではあとわずかしかありません。でも、先生方が遅くまで勉強の面倒を見てくれたおかげで、学校で集中して勉強することができました。結局、受験した2校の大学には落ちてしまいましたが、現在も新たな受験に向けて勉強中です。こうして目標ができ、目標に向かって一筋に進む自分があるのも、高校に入ったおかげです。高校は、いろいろな可能性を引き出してくれる宝の山だと実感しています。

M君のある1日

| | | | |
|--------|-------------|--------|--------|
| 7:00 | 起床 | 13:10～ | 第3時限 |
| 8:00 | 家を出る | 14:00 | |
| | | 14:10～ | 第4時限 |
| | | 15:00 | |
| 9:00 | サポート校 到着 | 15:00～ | 自主学习 |
| | | 17:00 | |
| 9:00～ | 自主学习 | 17:00 | 下校 |
| 10:30 | | 18:00 | 帰宅 |
| 10:30～ | 第1時限 | 18:00～ | 夕食やお風呂 |
| 11:20 | | 20:00 | |
| 11:30～ | 第2時限 | 20:00～ | 予習・復習 |
| 12:20 | | 22:00 | |
| 12:20～ | 昼休み | 23:00 | 就寝 |
| 13:10 | | | |

※1、2年生のときは16:00～20:00までアルバイト

演劇が学べる学校で、 充実した日々を送っています！

K君 [高等専修学校]

演技も勉強できる学校へ

将来のことを考えていたとき、ふと役者になりたいことを思い出しました。でも、演技経験もない僕が、すぐに役者として働けるわけがありません。高校にも行っていなかったので、ちゃんと就職先が見つかるのか、本当に悩みました。そんなとき、高校の資料をばらばらめくっていると、“演技の勉強もできる学校”という文字が飛び込んできました。普通、高校といたら、国語、数学、理科、英語など基本的な勉強しかしないのでは、と思っていたので、こんな学校があることにびっくりしました。当時は高校に進学する気持ちはあまり持っていなかったのですが、なぜかこの学校にひかれて説明会に参加してみると、自分にぴったりの学校だとわかり進学を決めました。

個性的な生徒や先生に 刺激を受ける

演技の勉強ができる以外に魅力的だったのが、少人数制であることでした。もともと人とのコミュニケーションがうまくとれない性格だったので、大勢の人と一緒に勉強したくないと思っていました。ところが、この高校は演技のほかにも、さまざまな分野の勉強ができることから個性的な生徒が多く、みんなと交流するうちにコミュニケーションも普通にとれるようになっていきました。先生方も現場で活躍されている、ユニークで、かつ真剣に生徒と向き合ってくれる方ばかりで、普通の高校にはない経験をすることができて、

とてもよかったです。

さまざまな人と出会い、 意識が変わる

社会性を身につけるため、アルバイトを奨励している点もこの学校ならではの思いです。僕もコンビニでのアルバイトを経験して、やりがいというものを覚えました。今は、さらに深く演技の勉強をするため大学に進学しようと考えています。最初は無理かなと思っていたのですが、先生たちの励ましもあり、自分でも大丈夫なんじゃないかと思えるようになりました。意識が変われば考え方も変わります。ただし、自分から動かなければ何も変わりません。僕はこの学校でさまざまな人と出会い、意識が変わり、自分の意志で動く大切さを学びました。「過去は過去。未来はいくらでも変えられる」という先生の言葉をいつも胸に秘めています。

K君のある1日

| | | | |
|--------|--------------|--------|--------------|
| 7:15 | 起床 | 12:50～ | 第4時限 |
| 8:00 | 家を出る | 13:40 | 第5時限 |
| 8:30 | 高等専修学校 到着 | 15:00～ | 演劇クラブで 活動 |
| 9:00～ | 第1時限 | 16:00 | |
| 9:50 | | 16:30～ | アルバイト |
| 10:00～ | 第2時限 | 20:30 | |
| 10:50 | | 21:00 | 帰宅 |
| 11:00～ | 第3時限 | 21:00～ | 夕食やお風呂 |
| 11:50 | | 22:30 | |
| 11:50～ | 昼休み | 22:30～ | 予習・復習 |
| 12:50 | | 23:30 | |
| | | 24:00 | 就寝 |

やってみれば道は拓ける! 「なりたい自分」のために、今、頑張っています。

N君 [通信制高校×就労]

社会経験のなかで高校卒業資格の 必要性を痛感

全日制の高校に通っていましたが、家庭環境の問題で、一年生の3月に家を出をし、高校を中退しました。その後、3年間くらいアルバイトをして生活していましたが、あるとき、元々興味があったIT系のスキル全般を教えてくれる、ハローワーク主催のプログラム(ハローワークトレーニング)を母が教えてくれました。IT系の勉強はとても楽しく、ひよんなことから、そのプログラムを提供している会社から誘われ、入社することになりました。

その後、社会人として働くなかで、高卒の資格をとっておいたほうが有利だと感じるようになり、中卒であるという劣等感を持ち続けることも嫌だったので、働きながら高校に行くことを決意しました。定期的にスクーリングがあり、先生たちのフォローを受けられる通信制高校が自分には合っていると考え、今の学校を受験し入学しました。

働きながら学校生活を満喫

勉強はあまり好きではありませんが、例えば、数学はAIの情報統計など会社での仕事にも直結しており、高校で学ぶことと仕事とのつながりを実感しています。この学校では、ビジネス基礎や政治経済など、社会人としての一般常識も学習でき、今の自分に役立っていると感じています。

平日は会社があるので、スクーリングは土曜日です。友達を作る気はなかったのです

が、体育の授業の時に話しかけてくれた子がいて、今では大切な友達です。みんなとは3歳くらい年齢が離れていますが、ほとんど気になりません。

通信制大学への進学を目指して

高校卒業後は、通信制の大学に進学して、今の仕事に活かせる情報や教育について学びたいと思っています。会社が大学の費用も少し負担してくれる予定なので、応援してくれる会社や家族のために頑張りたいです。自分はまだ今の会社に入ることができましたが、この先何があるか分からないので、大学卒業の資格も取っておきたいと考えています。

勉強をしていると、面倒くさいと感じることもありますが、後々役立つことがあると分かっているため、自分の目標のために頑張っています。「面倒くさい」という目先の感情に捉われず、その先の結果を見据えることが大事だと思っています。

N君のある1日

| N君のある1日 | | 【土曜日】 | |
|---------|---------------|-----------------|---------|
| 6:00 | 起床 | 7:00 | 起床 |
| 7:00 | 準備 | 8:45~ | 第1時限 |
| 9:00 | 出社 | 9:45~ 10:30 | 第2時限 |
| 18:00 | 業務終了 | 10:40~ 12:10 | 第3・4時限 |
| 19:30 | 帰宅 | 12:10~ 13:00 | 昼休み |
| 20:30 | 夕飯 | 13:00~ 14:30 | 第5・6時限 |
| ~24:00 | 自由時間 勉強、趣味 | 14:40~ 15:25 | 第7時限 |
| | | 16:30~ | 帰宅、自由時間 |

かわれるかどうかは自分次第 大切なのは諦めない心

T君 [高卒認定試験×大学]

新たな人間関係を作るために、 大学を目指す

16歳の時と17歳の時の二回、少年院に入っていました。二回目に入った時は通信制高校に在籍していましたが、大学への進学を目指すことに決めたため、少年院在院中に高卒認定を取ることにしました。大学に進学しようと思った一番の理由は、再非行を繰り返さないよう、これまでの不良交友を断ち切ろうと思ったからです。

今までは、非行をしない友達はありませんでしたが、大学に入って新しい友達との関係がどのようなものになるか不安でしたが、これまでとは違う真面目な関わりによって非行をしなくなったので、大学に入ってよかったと思っています。

目標達成のために、 強い気持ちを持って

出院後は、民間の塾に通いながら大学進学を目指しました。秋に出院して、その年度の1、2月に受験という非常に短い受験期間でしたが、塾には自習室が開く11時頃に行き、夜の10時頃に家に帰るといった毎日でした。そして時間があると自分の学力で行けそうな大学を見に行ったりして、大学生の自分をイメージしていたこともモチベーションになりました。

少年院出院後に、繁華街で昔の友達に偶然会ってしまい非行を繰り返す、というような再非行の典型的な事例は、そうした場所に寄り付かないなど、自分さえしっかりしていれば起きないのかなと思います。少年院の中で

かわれるかだけではなく、少年院を出院してからかわれるかどうかが重要なので、「変わりたい」という思いを少年院の中で固め、目標を設定し、その目標を達成するために少年院での生活を送ることが大切だと思います。

将来は自分の経験を活かしたい

現在は、社会学部で社会学の基本的なことや社会問題などについて学んでいるほか、サッカーサークルに入ったり、学校外でもジャーナリストの講演会に行ったりと、積極的に活動しています。当初は経営学部志望でしたが、非行や犯罪をした人の支援に興味があったので、様々なことを幅広く学べる社会学部に決めました。

大学に入る前から、犯罪や非行をした人への処遇や出口支援に関わりたいと考えていました。まだまだ自分が知らないことをたくさん経験すると思うので、将来どうなるかはまだわかりませんが、今のところ卒業後は、犯罪や非行をした人の支援に関わる仕事をしたと考えています。それは、これまでの自分の経験や感じてきたことがその人たちの支援の役に立つのではないかと思うからです。

T君のある1日

| | | | |
|-----------------|------|-----------------|-------|
| 7:30 | 起床 | 14:45～ 16:15 | 第3時限 |
| 8:00 | 朝食 | 16:30～ 18:00 | 第4時限 |
| 9:00 | 登校 | 19:00～ 22:00 | 友達と食事 |
| 10:40～ 12:10 | 第1時限 | 23:00 | 帰宅、風呂 |
| 12:10～ 12:55 | 昼休み | 24:00 | 就寝 |
| 13:00～ 14:30 | 第2時限 | | |

よ ねん せい だい がく
四年制大学

ち しき きょうよう はば ひろく
知識や教養を幅広く
 み
身につけることができる!

大学は、高校卒業後に進学できる高等教育機関です。興味・関心のある分野の学習を深めるための「学部」を選んで進学しますが、最初の1～2年で学ぶ「教養課程」では、専門の分野以外のさまざまな学問の基礎知識を学ぶことができます。

また、中学、高校とは違い、自分の興味に合わせて必要な科目を選択し、進級・卒業に必要な「単位」を取得していきます。自分なりに計画を立て、時間割をつくれるのも大学の大きな特徴です。通学期間も4年(学部によっては6年)と長いため、余

裕を持って学びつつ、クラブ活動やアルバイトなどでプライベートを充実させることもできます。

昼間に大学で学ぶ「昼間部」のほかに、仕事などをしながら夜に大学に通う「夜間部」や、自宅でテキストやパソコンを通じて必要な単位の取得をめざす通信制の大学もあります。



とくちょう
特長

- 興味・関心のある分野の学部を選べる。
- 進級・卒業に必要な単位に合わせて時間割をつくれる。
- 昼間部、夜間部、通信制など、自分の都合に合わせて学べる。

メリット

- ✌ 社会に出る前に、自分の人生を深く考える時間や機会が得られる。
- ✌ 生涯にわたってつきあえる同世代の友人と出会う。
- ✌ 専門的な学問や幅広い一般教養に触れることで、自分の専門能力や見識を高められる。
- ✌ 大学卒業の資格を得ることで、就職先の選択肢が増える。
- ✌ 大学卒業によって生涯賃金が増える可能性が高まる。

おも がく ぶ まな せん もん か もく いち れい
主な学部と学べる専門科目の一例

| | |
|-----------------|--|
| こうがくぶ 工学部 | でんしこうがく きかいりきがく ろん 電子工学、機械力学、コンピュータ論、プログラミング演習、技術者倫理など |
| けいざいがくぶ 経済学部 | けいざいがく ざいせいがく けいえいろん ちゅうしょうきぎょうろん ろん きんゆうほう ろうどうほう 経済学、財政学、経営論、中小企業論、マーケティング論、金融法、労働法など |
| しょうがくぶ 商学部 | しょうがく かいけいがく ぜいほう ろん ぼきろん ざいむかいいろん げんかけいさんろん 商学、会計学、税法、ファイナンス論、簿記論、財務会計論、原価計算論など |

※このほかに、法学部・経営学部・教育学部・理学部・医学部・薬学部・農学部などがあります。

短期大学

教養と社会ですぐに役立つ
技能を身につける!

四年制より「短期」(主に2年)で学ぶ大学です。「教養科目」を学ぶことで幅広い知識を身につけることができるうえに、専門科目や、社会に出て即戦力として働くための実践的な知識や技術を学べます。2年間で取らないといけない単位が多く、実習時間も多いため、四年制大学より学生生活は忙しくなります。

とはいえ、通学期間は2年ですむので、学費を抑えることが可能です。短期間で知識や資格を手に入れ、早く社会で活躍したい人に向いているといえます。

学校の規模が比較的小さく、学生数が少ないことが多いので、先生の指導や就職支援などのフォローの手厚い学校が多いようです。

特長

- 幅広い教養と実践的な知識・技術の両方が学べる。
- 実習時間が多い。

メリット

- 学費を抑えられる。
- 指導や就職支援のフォローが行き届いている。



専門学校

(専修学校専門課程)

仕事に役立つ知識や技術を
専門に学ぶ学校

調理師や美容師、看護師、整備士など、特定の職業に必要とされる知識や技術、資格を身につけるための専門の課程が用意された学校です。専門に特化した実践的な授業・実習が受けられるので、卒業後、希望の職種ですぐに活躍することができます。関連業界とのつながりが強い学校が多い

ため、希望の就職先ややりたい職業、かなえたい夢がはっきりしている人におすすめです。

一定の基準を満たせば「専門士」「高度専門士」の称号が与えられ、大学や大学院へ進む道も開けます。

特長

- 専門に特化した授業・実習が受けられる。
- なりたい職業、かなえたい夢が明確な人向け。

メリット

- 卒業後、希望の職種で即戦力として働ける。
- 大学・大学院への進学が可能。



それぞれの学校の特長を比べてみよう! [高校卒業後]

| 学校の種類 | 入学試験 | 学校の種類 | 学費 |
|-------------------------|--|-------------|--|
| 大学 (昼間部) | ・国公立: センター試験(1次試験) + 一般入試(2次試験) ・私立: ①一般入試または センター試験利用入試 ②推薦入試 | ・国公立 ・私立 | 年間学習費 ・国公立 約55万円 ・私立文系 約100万円 ・私立理系 約130万円 ※大学・学部によって異なる |
| 短期大学 (昼間部) | 大学が示す基準を満たし、学校長の推薦を受けて応募する試験。面接や小論文が課されることが多い ③AO入試 総合的な人物評価で選抜する試験。書類審査や面接、小論文が課されることが多い(学校長の推薦は不要) | ・国公立 ・私立 | 年間学習費 ・国公立 約40万円 ・私立 約80~100万円 |
| 大学・短期大学 (夜間部) | 昼間部と同じ場合や、小論文のみなど、大学により異なる | ・国公立 ・私立 | 年間学習費 昼間部の3分の2から半分くらい |
| 大学・短期大学 (通信制) | 書類選考。面接や小論文が行われることも | ・国公立 ・私立 | 初年度 10~20万円が一般的 ※スクーリングの受講料が別途必要 |
| 専門学校 | AO入試、推薦入試、一般入試(書類審査、学科試験、面接など) | ・国公立 ・私立 | 初年度 約90~170万円 (専門によって開きがある) |

進学をサポートする経済的支援制度

学びたい気持ちがあるにもかかわらず、経済的理由から進学の道をあきらめることがないよう、さまざまな経済的な援助があります。その代表的なものが「奨学金」です。

奨学金には地方自治体によるもの、学校独自によるもの、学生の支援をしている「独立行政法人 日本大学支援機構」によるものなど、さまざまな種類があります。種類によっては、返済の義務がないもの、利子がつかないものもあるので、進学を検討するときに調べておくとい良いでしょう。詳しい内容は34ページにまとめています。

の進学先編]

| 進学スタイル | 修業年限 | 卒業条件 | 卒業後の主な進路 |
|---|-------------------------------|----------------------------------|---|
| 週5日程度通学 (授業のとり方により異なる) | 4年 ※医学・歯学・薬学・獣医学系は6年のことが多い | 124単位以上を取得 ※医学・歯学・薬学・獣医学系は異なる | ・就職 ・大学院へ進学 |
| 週5日程度通学 (授業のとり方により異なる) | 2年 | 62単位以上を取得 (3年制は93単位以上) | ・就職 ・大学へ編入学 |
| 週5日程度、夜間に通学(土曜日に授業があることもある) ※主に18時～21時に2～3コマの授業が行われる | 昼間部に同じ (1年長い場合もある) | 昼間部に同じ | ・就職 ・大学へ編入学 ・大学院へ進学 |
| 自宅で学習 (学校などで直接指導を受けるスクーリングが必須) | 4年 (最長在籍期間は学校により異なる) | 124単位以上を取得 (スクーリングで30単位以上) | ・就職 ・大学院へ進学 |
| 週5日程度通学 (学校により異なる) | 1～4年 | 年間800時間以上の授業 (夜間なら450時間以上) | ・就職 ・「専門士」は大学へ編入学 ・「高度専門士」は大学院へ進学 |

※入学試験制度は、希望する学校・学部によりさまざまな形式があります。詳細は各学校の募集要項等で確認ください。

※「センター試験」は、2020年度(2021年1月実施)からは「大学入学共通テスト」に変わりました。合わせて「一般入試」は「一般選抜」に、「推薦入試」は「学校推薦型選抜」に、「AO入試」は「総合型選抜」に名称が変更されました。

※学費は標準的なもので、大学・学部・専門等によって大きく異なることがあります。また、初年度には「入学金」(私立大学・短期大学は25万円程度)が別途必要です。学費には「施設設備費」等の経費を含んでいます。

奨学金について

奨学金制度とその種類

地方自治体による奨学金制度

高校生等が低所得世帯を対象とした奨学金制度に、「高校生等奨学給付金制度」があります。この制度では対象条件や給付金額などが各都道府県によって異なります。利用を希望する場合は、文部科学省のホームページにある「高校生等奨学給付金のお問合せ先一覧」を確認しましょう。

このほか、各都道府県や市区町村によっては、独自の奨学金制度を設けていることがあります。すべての地方自治体に制度があるわけではないので、最寄りの県庁や区役所へ問い合わせるか、日本学生支援機構のホームページ (<https://www.jasso.go.jp/>) から全国の自治体が扱う奨学金制度について調べてみましょう。

学校独自による奨学金制度

主に私立の高校、大学、短大、専門学校が独自に設けている制度で、卒業後に返済の必要がない「給付型」の制度が多いのが特徴です。入試での成績優秀者を対象に、授業料の一部あるいは全額が免除になるものもあります。ただし、「1年間のみ」「毎年審査がある」などの条件もあるので注意が必要です。制度の対象者や内容は学校によって異なるので、まずはどのような奨学金や給付金があるか、進学を希望する学校に問い合わせましょう。

また、国公立大学では、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀な学生に対して、授業料の全額または半額が免除される制度もあります。

日本学生支援機構による奨学金制度

すべての大学と短大、ほとんどの専門学校への進学者が受けることができる、代表的な奨学金です。返還義務のない「給付型奨学金」、利子のつかない「第一種」、返済時に利子が上乗せされる「第二種」があります。国公立か私立か、自宅生か下宿生かなどによっても異なりますが、月額2万円～12万円までの貸与が受けられます。また、入学初年度に10～50万円の一時金を借りることもできます。高校の成績が一定以上であることなど、基準が設けられています。詳しい内容は → 日本学生支援機構ホームページ (<https://www.jasso.go.jp/>)

そのほかの団体による奨学金制度

公益財団法人の「日本教育公務員弘済会」では、給付型・貸与型両方の奨学金支援を行っています。支援対象者は、学資金の支払いがとくに困難と認められた高校生から大学院生です。相談窓口は各都道府県の支部になります。支援を得るには学長の推薦と審査が必要です。

また、民間団体の「社会福祉協議会」でも教育資金の支援をしています。入学時に必要な経費を50万円まで貸与する「就学支度費」、就学等の費用を毎月貸与する「教育支援費」の2種類の支援があります。支援対象者は低所得世帯に該当する高校、専門学校、大学進学者および在学学生で、支援には審査が必要です。相談窓口は、各区市町村の社会福祉協議会になります。

高等学校等就学支援金・高校生等奨学給付金

【概要】

高校生への2つの支援
高等学校等就学支援金・
高校生等奨学給付金
リーフレット



【各種問合せ先】



【高等学校等就学支援金】

高等学校等
就学支援金制度
リーフレット



【高校生等奨学給付金】

高校生等
奨学給付金
リーフレット



【日本学生支援機構】

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>



【日本教育公務員弘済会】

<https://nikkyoko.or.jp/>



夜間中学とは？

夜間中学も昼間の中学校と同じ、中学校です。

夜間中学とは、様々な事情により十分な教育を受けられなかった人に対し、義務教育の機会を提供することを目的とする中学校の夜間学級です。戦後の混乱期の中で義務教育を修了できなかった人や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられなかった人、外国籍の人など、多様な背景を持った人たちが学んでいます。

特長

- 公立の中学校は授業料無償です。
- 週5日間、授業があります。
- 教員免許を持っている中学校の先生が教えてくれます。
- 全ての課程を修了すれば、中学校卒業となります。

詳しい内容は、文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/yakan/index_00005.htm



| | |
|-------|----------|
| 17:00 | 登校 |
| 17:25 | ホームルーム |
| 17:30 | 一時間目 国語 |
| 18:10 | 給食 |
| 18:40 | 二時間目 英語 |
| 19:25 | 三時間目 家庭科 |
| 20:10 | 四時間目 数学 |
| 20:50 | ホームルーム |
| 21:00 | 下校 |

高等学校卒業程度認定試験とは？ (高卒認定試験)

高卒認定試験は、高校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験です。合格すると、大学、短大、専門学校の受験資格が得られます。高卒認定試験で合格しても、高卒資格を得ることはできませんが、就職や資格試験に活用することができます。高卒認定の資格を考慮したり、高校卒業と同等とみなす民間企業等もあるので、合格したら、履歴書の中学校卒業の欄の後に記載するとよいでしょう。

「高等学校卒業程度認定試験」は年に2回(8月と11月)、それぞれ2日間にわたって実施されます。受験会場は各都道府県に1カ所以上あり、16歳以上であれば誰でも受験できます(大がくとうにゅうがくさいがんとせいはじゅうはちさいから)。願書は、各都道府県の教育委員会などの配布場所、文部科学省の生涯学習推進課などで手いに入れましょう。

試験科目は選択方法によって8～10科目で、全科目を一度に合格する必要はありません。次回以降は不合格になった科目に挑戦できます。コツコツと積み重ねて、全科目合格した時点で高卒認定を取得することが可能です。詳しい内容は → 文部科学省ホームページ (https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/)



| 教科 | 科目 |
|------|-------------------------------------|
| 国語 | 国語 |
| 地理歴史 | 地理 歴史 |
| 公民 | 公共 |
| 数学 | 数学 |
| 理科 | 科学と人間生活、物理基礎、 化学基礎、生物基礎、地学 基礎 |
| 外国語 | 英語 |

※令和6年度第1回試験から試験科目が一部変更となりました。

あれこれ Q&A

Q

高校を中退したのですが、別の高校に入る場合、1年生から入らなければいけませんか？

A 高校を中退した人が、新たに高校へ入ることを編入学といいます。単位制の学校であれば、以前、在籍していた高校での修得単位を新しい学校でもいかすことができます。学年制の場合は、中退時の学年は修了していないため、もう一度その学年からやり直すこととなります。2年生の途中でやめた場合は2年生から、1年生の場合は入学式から始めます。

Q

サポート校だけに通っても、高校卒業資格はとれますか？

A サポート校はあくまでも学習のサポートをする学校であり、塾のような存在です。高校卒業資格を得るには、通信制高校や定時制高校などに同時に通う必要があります。

Q

通信制高校は、どこの高校でも自由に入学できるのですか？

A 公立の場合は、その都道府県に住んでいる人が対象です。一方、私立の場合は、高校のある都道府県の人だけにとどまらず、募集対象を全国としている学校や、関東や関西といった地方を対象としている学校などさまざまです。3都道府県以上を対象にしている学校を「広域制通信制高校」と呼びます。高校が所在する都道府県と近隣の都道府県のみを対象にしている高校のことを「狭域制通信制高校」と呼びます。通信制の場合、スクーリングがありますので、スクーリングの場所も考慮に入れて学校を選びましょう。

Q

高校に寮はありますか？

A 国公立の高校は少ないですが、私立高校では比較的多くあります。生徒全員が寮に入る全寮制や、通学に困難な生徒のみを対象にした学生寮などがあり、共同で生活を送ることで社会性も身につきます。

Q

就学支援金はサポート校や技能連携校の生徒でももらえますか？

A 就学支援金の対象校は、国公立・私立高校(全日制、定時制、通信制)または高等専修学校となっています。サポート校や技能連携校は対象ではありませんが、通信制高校や定時制高校などに通っている場合は、通信制高校または定時制高校の授業料が減額されます。

Q

通信制高校にあるスクーリングとは何ですか？

A 学校や学習センターなどに通学して、先生から直接指導を受けることです。平均すると年間約20日ですが、「月2回程度登校」「1年に1回、リゾート地での3泊4日の集中スクーリング」「前・後期末に各2日間の集中スクーリング」「土日スクーリング」「土曜スクーリング」「日曜スクーリング」など、各学校によってスタイルはまちまちです。

Q

奨学金に関する相談は、どこにすればいいですか？

A 高校進学の場合は最寄りの県庁や区役所に、大学進学の場合は日本学生支援機構に相談するのがよいでしょう。

日本学生支援機構 奨学金相談センター

電話：0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)

月曜～金曜 9:00～20:00

(土日祝日・年末年始を除く)

※音声自動応答システムを導入しています。料金は本人負担となります。



お悩み相談



同級生との年齢差が気になります。



学校によっては、様々な年齢の方が在籍しているので、引け目に感じる必要はありません。例えば、通信高校の学生は10代がもっとも多いですが、20代から80代まで幅広い年代の方が在籍し、学んでいます。様々な年齢の人との交流は、あなたにとってきっと様々な見識を広げるよい機会となり、人生にとってプラスになるはずです。

学力に自信がなく、入学しても授業についていけるか不安です。



自分の学力や生活スタイルに合った学校を選ぶことが大切です。学校によっては、個別に指導することを重視している学校もありますので、保護者の方などと相談しながら調べてみましょう。一人で勉強について行けるか不安な人は、通信制高校の勉強についてサポートしてくれるサポート校や、生徒一人一人にきめ細かい指導を行ってくれる全日制のエンカレッジスクール等もあります。



いじめや不登校の経験があるので、集団生活に馴染めるか不安です。



今、学びたいというその気持ち大切です。高校によっては集団で授業を受ける学校と、自分のペースで勉強を進める学校があります。また、一部の自治体には、小・中学校時代に不登校経験や中途退学等を経験するなど、これまで能力や適性を生かし切れなかった生徒などが、新たに目標を見つけてチャレンジすることを応援する定時制・単位制の高校(チャレンジスクール等)もあります。通信制高校によっては個別での指導に力を入れている高校もありますので、検討してみてもいいかもしれません。

周囲に頼れる人がいないので、入学手続きを自分でできるか不安です。



受験前であれば、各都道府県の教育相談窓口にご相談をしてみましょう。また、すでに入学する学校が決まっていれば、入学する学校の相談窓口に電話をしてみるとよいでしょう。各都道府県の相談窓口は以下のとおりです。

※各地域の相談窓口

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112213.html





お悩み相談



ひるま じかん はたら こうそつ し かく と りょうりつ ふ あん
昼間の時間に働きながら高卒資格を取りたいのですが、両立が不安です。



はたら こうこうせい かつ おく ば あい まいにち き し かん つうがく ていじせいこうこう ねんかん
働きながら高校生活を送る場合、毎日決まった時間に通学する定時制高校にするか、1年間に20日前後(学校によります)のスクーリング時に通学する通信制高校にするか悩むところだと思います。どのような方法が自分の生活スタイルに合っており、無理なく勉強を続けられるのかよく考え、保護者の方や就労先の方と事前に話し合いながら、自分の生活に合った学校を選びましょう。

いま し ごと しゅうちゅう おと な
今は仕事に集中したいのですが、大人になってからも高校に入学することはできますか。



げんざい にほん なんさい まな ば おと な こうこう にゅうがく かた
現在の日本では、何歳になっても学びの場はあり、大人になってから高校に入学する方もたくさんいます。仕事に慣れ、金銭的に安定してから入学することも可能ですので、しっかりと考えていきましょう。



つうしんせいこうこう こうそつにんていしけん まよ
「通信制高校」と「高卒認定試験」とで迷っています。



つうしんせいこうこう そつぎょう じ かん そつぎょう こうそつ し かく まよ しやうらいてき
通信制高校は、卒業までに時間はかかりますが、卒業すれば高卒の資格が得られ、将来的な職業選択の幅が広がり収入面の増加などが期待できます。また、スクーリング等をとおして、学校行事や部活動など、勉強以外に様々な経験ができます。
高卒認定試験は、短期間で全科目合格を目指すこともでき、受験料も安いです。全科目合格すれば、専門学校や大学への受験資格が与えられますが、高卒とはなりません。自分の人生設計を考えた上で選びましょう。

おや こうこう い はたら い
親は高校に行かず働けと言っています。どう説得すれば良いのでしょうか。



まず高校に行くメリットや高校に行きたい理由を説明してみてもどうでしょうか。親御さんが高校進学をためらう理由の中に金銭的な問題がある場合、奨学金制度等も提案してみましょう。



こま そろ だん まど ぐち いち らん 困ったときの相談窓口一覧

しゅう がく なや 修学の悩みについて

○教育支援センター

高校を中途退学した生徒や不登校の生徒の社会的自立に向けた指導・援助を行う公
的施設です。詳細は各教育委員会にお尋ねください。

HP https://www.mext.go.jp/b_menu/link/kyoiku.htm



こころの悩みについて

○24時間子供SOSダイヤル(電話)

全国どこからでも、夜間・休日を含めて、いつでもいじめやその他のSOSをより
簡単に相談することができます。

電話 0120-0-78310

HP <https://www.mext.go.jp/ijime/detail/dial.htm>



○子供のSOSの相談窓口(チャット)

SNSで相談できる窓口です。悩みの内容などに合わせて、気軽に相談してみてください。

HP https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112212.html



○地域別の相談窓口一覧

対面や電話、チャット等で相談できる窓口について、地域別に調べることができます。

HP https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112213.html



しごと なや 仕事の悩みについて

【仕事を見つけないとき】

○ハローワーク(公共職業安定所)

HP <https://www.mhlw.go.jp/kyujin/hwmap.html>



○ハローワークインターネットサービス

HP <https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>



○わかものハローワーク

HP <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000181329.html>



○地域若者サポートステーション（サポステ）

働くことに悩みを抱えている15～49歳までの方を対象に、無料で就労支援を行っている機関です。

HP <https://saposute-net.mhlw.go.jp/>



○ジョブカフェ

若者の就職支援をワンストップで行う施設です。地域の特色を生かした就職セミナーや職場体験、カウンセリング・職業体験、職業紹介など様々なサービスを行っています。

HP https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jakunen/jobcafe.html



【仕事に役立つ知識や技能を身に付けたいとき】

○ハロートレーニング（離職者訓練・求職者支援訓練）

ハローワークの求職者を対象に、職業相談等を通じて受講が必要である場合に、再就職の実現にあたって必要な訓練を実施しています。

HP https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/rishokusha.html



【仕事上の悩みを相談したいとき】

○総合労働相談センター

職場のトラブルに関する相談が可能で、解決のための情報提供をしてくれます。

HP <https://www.mhlw.go.jp/general/seido/chihou/kaiketu/soudan.html>



どこに相談したらいいのかわからないとき

○ぴったり相談窓口

ウェブ上でいくつかの質問に答えると、あなたの悩みにあった相談窓口を教えてください。

HP <https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/annai/>



○政府広報オンラインQ&A（子ども・教育・文化）（内閣府）

様々な機関の相談窓口が掲載されています。

HP https://www.gov-online.go.jp/kurashinosodan/list/ct_kodomo.html



○相談窓口一覧（厚生労働省）

HP https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/?gclid=EAlaIQobChMlg-CMnfqVgwMV8Sp7Bx38Jgc-EAMYASAAEgLOmfD_BwE



ほうむしやう
法務省

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

ほんしぜんぶいちぶむだんふくしゃ
本誌の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

